

井原市の魅力ポイント

■面積 243.54km² ■人口 約3.7万人 ■指定地域 過疎

■【井原デニム】国産デニムのルーツ！「デニムの聖地」

江戸時代から藍染織物の産地として発展。欧米のバイヤーから絶賛されており、ヨーロッパの有名ブランドやアメリカの高級ジーンズアパレル向けに多く輸出。2019年、地域団体商標登録。

【ポスター】井原デニム
(提供/井原商工会議所)



■【美星の星空】天文学者が選んだ！「日本三選星名所」

天体観測の好適地、美星町。1989年に国内で初めて光害防止条例を制定し、星空保護の先駆的役割を長年リード。2021年、アジア初の星空保護区(コミュニティ部門)に認定。



【写真】美星天文台と美星の星空
(提供/美星天文台)



【ポスター】井原のぶどう

■【ブドウ・明治ごんぼう・美星満天豚】優れた農産物！

*「くだもの王国おかやま」が誇るブドウ作りに適した気候や土地に恵まれた、西日本有数の産地。品質の高さと厳選な選果・選別により、消費者や市場関係者等から高い評価。

*約250年の歴史がある、粘土質の赤土畑でじっくり育った、きめが細かく筋張っていない、香り高いゴボウ。2017年、イオンリテール(株)のフードアルチザン(食の匠)活動を始動。2021年、地域団体商標登録。

*世界が認めた星の郷「美星」で育てた極上の豚肉。飼料にコメを混ぜた特別な飼料が与えられた豚は、透き通るような脂と、きめの細かい肉質が特長。2022年、商標を取得。



【ポスター】明治ごんぼう



【ポスター】美星満天豚
(提供/J A 晴れの国岡山)

井原市の課題

■ 政策分野 地域振興・地域活性化

「賑わい創出拠点」の整備

- 井原市芳井地区では、**人口減少、少子化・高齢化の進展**に伴い、**医療、福祉、産業、公共交通**など広く問題が発生。県が行う橋梁の架け替え事業に伴い、**地区内唯一のスーパーが閉店**。
- 地元スーパーの代替機能のほか、**交流人口増加、防災体制の強化、産業の活性化等を目的とした「賑わい創出拠点」の整備を予定**。⇒道の駅、公園等の機能を有する施設を整備。

廃校の活用方針の検討

- 令和4年末に廃校となった校舎を活用したまちづくりの推進の検討。

応援隊の活動報告

これまでの活動

- 7月：賑わい創出拠点候補地や、主要観光地、廃校等を現地調査。
- 不定期でのオンライン打合せを実施。
→国交省主催のサウンディングや、DBO方式で整備された道の駅の事例等の情報共有

現地調査後の井原市での動き（賑わい創出拠点）

- 7月（国交省主催）、8月（市主催）にサウンディングを実施（延べ25社参加）。
- 9月末：公募型プロポーザルの募集開始（アトバイザリ-業務）。土地利用に関する条件調整のため10月に募集中止、現在調整中。

今後の方針

- 引き続き情報共有を図り、市が必要とする情報等を提供する。

県指定名勝の天神峡



賑わい創出拠点候補地

